

地域密着型金融推進計画（平成23年度）

平成23年度の「地域密着型金融推進計画」では、コンサルティング機能を発揮した中小企業者や個人のお客さまの金融の円滑化、地域に根ざした金融機関として、地域の面的再生への積極的な参画、お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信・ご意見の収集等の取組を本計画に掲げ取組みました。これらを実践していくために、本部と各営業店が一体となり情報の共有化を図ることにより、お客さまの立場からの適切な経営相談や経営支援等の充実を図るため、研修会等を充実させました。今後ともお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取組み、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります所存です。なお、計画及びその進捗状況の詳細につきましては、下記のとおりです。

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮 (1) 創業・新事業支援 ・群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫との連携強化 ・制度融資の活用 ・発明協会との連携強化	・融資案件に応じた中小企業支援センター等の活用。 ・地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化。 ・制度融資を積極的に利用していく。 ・地域の発明協会等との連携を強化する。	・創業・新事業支援は、積極的に県の制度融資を取扱いましたが、中小企業支援センター等の活用には至りませんでした。 ・ベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携について23年度は、取引事例はありませんでしたが、引続き積極的な対応を行っていきます。 ・創業・新事業支援は、積極的に県の制度融資を活用しました。結果として5件、37百万円の実行となりました。 ・渋川発明協会主催の渋川広域圏発明くふう展に協賛し「北群馬信用金庫理事長賞」を創設するなど連携強化を図りました。	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>(2) 企業の成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会等（金庫会員組織）によるビジネスマッチング ・しんきんビジネスマッチングサービスの活用 ・海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 ・異業種交流の研修会への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会等を介したビジネスマッチングを積極的に進め、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 ・しんきんビジネスマッチングサービスの活用により、信用金庫業界内で、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 ・信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 ・しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会等（金庫会員組織）により、各種事業を通じビジネスマッチングの機会が図られるよう配慮し、各々有益な情報取得を図れるよう取り組みました。 ・平成23年9月「ビジネスマッチングサービス事務取扱要領」を策定し取り組みました。 平成24年2月営業地域内にある草津温泉、伊香保温泉を全国の信用金庫理事長に紹介し、「年金友の会」や「しんきん会」等の旅行で当地を来訪していただけるよう依頼、地域活性化の一助となるようにしました。 ・信金中金と連携することにより海外進出支援の態勢を整え取り組みました。 中国、東南アジア等の生の情報を吸収しお客さまの海外進出支援の一助にすべく、11月には信金中金が開催する「海外投資セミナー」に担当役員を派遣しました。 ・東京ビジネス・サミットへの視察等検討を行っていましたが、会場が神戸へ変更となったことから本年度は見送りとしました。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
・外部機関との連携	・群馬サポーターズ制度に参加し各地域の関係機関との連携によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。	・群馬サポーターズ協議会に参加し、中小企業者の方へのきめ細かな対応に努めました。	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>(3) 経営改善支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善が必要な企業に対する取組の強化・大口与信先等に対する中間管理の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 金融円滑化融資対象先に対して、経営目標の実現や経営課題の解決を図るための方策を踏まえた経営改善計画策定の支援を積極的に取組む。 経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な場合は、お客さまの状況をきめ細かく把握したうえで積極的に取組む。 大口与信先等については、債務者の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、営業店と本部（融資部・経営支援室）が一体となり積極的な経営支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 金融円滑化融資対象先に対する経営改善計画策定支援として、お客さま自身で策定が困難な場合は、外部機関の紹介や当金庫作成の簡易改善計画書による作成支援を積極的に対応しました。経営者と現状・課題・具体的な施策等を加味し実効性ある経営改善計画書の策定支援を引続き行っていきます。 経営改善計画書に対して、検証作業を行い、東日本大震災の影響で、大幅な乖離等が発生した場合には再策定も行いました。 本部、営業店を含めた経営改善計画書の策定支援における実績は策定支援中も含め 278 件でした。 経営支援の一環として、貸出条件変更が必要な先について、経営改善計画書に基づき積極的に行い実態に合った返済計画への変更を行いました。 実績としての条件変更債権数は 754 口、12,371 百万円でした。 各営業店は、債務者の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、コンサルティング機能を強化し、本部（融資部、経営支援室）と連携し、 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>・大口の設備資金融資先等への期中管理の強化</p> <p>(4) 事業再生</p> <p>・事業再生の早期着手に向けた取組の促進</p>	<p>・決算書問題点発見型システムを活用して与信先の管理、アドバイスをを行う。</p> <p>・CRD協会の中小企業診断システム(MSS)の分析内容を、お客さまへ提示、提案等積極的に行っていく。</p> <p>・経営支援により債務者区分のランクアップを図ると共にランクダウンの防止を図る。 経営支援は、23年度本部(経営支援室・融資部)計で34先以上を対象先として実施する。</p> <p>・大口の設備資金融資先、経営改善計画策定先等については、融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報を共有する。計画の進捗状況をお客さまとのヒアリング等により把握し、計画を達成していくため支援を行っていく。</p> <p>・抜本的な事業再生や業種転換により経営の改善が見込まれる企業に対しては、経営再建計画の策定の支援等を行ってい</p>	<p>積極的な経営支援を行いました。</p> <p>・自己査定において、与信先の判断材料等の情報として活用しました。分析結果について、財務内容改善の検討に資するよう与信先へのアドバイスに活用しました。</p> <p>・中小企業診断システム(MSS)の分析内容をお客さまに還元し、将来シミュレーション等今後の企業育成の資料として活用を行いました。</p> <p>・平成23年度において、本部(融資部、経営支援室)で34先以上を対象先としていましたが、2先のランクアップを図ることができましたが、地域経済の厳しさもあり2先のランクダウンの結果となりました。</p> <p>・ローンレビューにおいて、事後確認の徹底を図りました。経営改善計画策定先について、営業店と本部が連携し進捗状況把握に努めました。融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報の共有を徹底しました。</p> <p>・抜本的な事業再生や業種転換により経営の改善が見込まれる企業に対し、経営改善計画策定支援</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>(5) 事業承継</p> <p>・事業承継を地域企業の第4のライフステージとして位置付けた取り組み</p>	<p>く。</p> <p>・状況に応じ群馬県中小企業再生支援協議会等連携先を活用していく。</p> <p>・あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため事業承継支援センター（群馬県産業支援機構内）等との業務提携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、㈱朝日信託との連携を図っていく。</p>	<p>として外部機関の紹介や当金庫作成の簡易改善計画書による作成支援を積極的に行いました。平成23年9月には企業再生相談先1先を信金中金が行っている「取引先の経営改善・企業再生相談」へ企業再生相談として持ち込みました。</p> <p>経営者と現状・課題・具体的な施策等を加味し実効性ある経営改善計画書の策定支援を継続しました。</p> <p>・23年度上期において破綻懸念先2先とその他要注意先5先を相談案件として持ち込みました。また、下期には抜本的な事業再生を念頭に破綻懸念先1件の相談を持ち込み、現在二次対応となっております。なお、フォローアップ終了先についても継続案件として経営改善計画書策定支援を行いました。</p> <p>・事業承継のニーズに対応するため、利用できる態勢を整えました。また、平成24年1月の自主勉強会にて㈱朝日信託より講師（公認会計士）を招き研修を実施（31人参加）し、営業担当者の知識向上と相談に対応する態勢を強化しました。</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業譲渡・譲受の積極的な相談業務の取組み <p>(6) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種制度融資の積極的活用 <p>(7) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきんキャピタル(株)等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行っていく。(M&A含む) ・県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金の取組み。 ・東日本大震災により被害を受けたお客さまに対し、本部と各営業店が一体となり引き続き積極的な支援を行っていく。 ・金融円滑化法の期限延長により、これまで以上にコンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給の確保に努める。 ・目利き力向上等のための業界団体が行う研修への参加と研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきんキャピタル(株)等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行う態勢は整えています。取扱いはありませんでした。 ・23年度実績 <ul style="list-style-type: none"> 小規模企業事業資金 26件 145百万円 群馬県経営サポート資金 72件 820百万円 ・23年度の支援結果として、震災関連融資が49件、447百万円の実行となりました。 ・23年度の金融円滑化法による中小企業に対する円滑な資金供給の確保を行った債権数は754口、12,371百万円でした。また、住宅資金における債権数は、34口、335百万円でした。 ・外部研修派遣者 22名 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
	<p>受講者による金庫内研修の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイナンシャルプランナー2級取得による相談業務の充実。 ・通信講座の受講、検定試験の受験等を積極的に推進。 ・対話力、折衝力強化のため勉強会の実施（現場力の強化）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイナンシャルプランナー2級取得者 44名 ・通信講座受講者 46名 検定試験等受験者のべ 184名 ・毎月2回土曜日の自主勉強会を実施 平成24年3月末 24回開催し、現場力の強化に努めました。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>2.地域の面的再生への積極的な参画</p> <p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川市商店街の活性化及び個店の販売促進、併せて消費の拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券の協賛、販売時の職員派遣。 ・ 平成 24 年カレンダーも前年に引き続き地域の名所等を図案化したものを検討し、地域振興の一助とする。 ・ 地方公共団体への融資スタンスは、金額、期間等を勘案し、積極的に対応する。 ・ 22 年度に引続き地球環境に配慮したハイブリッド車、電気、天然ガス自動車については通常金利より▲0.2%として利用者拡大に取り組む。 ・ ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための資金について通常金利より優遇するなど普及に努める。 ・ 群馬デスティネーションキャンペーンへの支援により県内産 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も、渋川市内商店街の活性化及び個々の店の販売促進、併せて消費拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券に協賛、販売時には職員を派遣、換金は全て本店営業部に取扱っています。 ・ 平成 24 年のカレンダーには上毛三山、及び県内西北部の滝をテーマに図案化し、地域振興の一助といたしました。 ・ 地方公共団体の起債入札に参加した結果、2 件、749 百万円の実行となりました。 ・ 23 年度実績として、12 件、20 百万円の実行となりました。 ・ ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備及びオール電化住宅建築を行うための資金に対し、最初の期間重視型の当初固定 10 年型金利より最大 0.1%引下げして対応いたしました。 ・ 23 年度実績として、2 件、35 百万円の実行となり 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士による税務相談 ・金庫職員等による金融知識の普及 ・交通安全指導の実施 ・町内道路清掃活動への参加 ・地元の祭典への積極参加 ・がん検診受診向上への取り組み 	<p>業の活性化に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。 ・外部機関より講師を招き、金庫地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・児童・生徒の通学路で登校時間に横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・渋川市の“へそ祭り”をはじめ各営業店所在地の祭典に積極的に参加する。 ・本店ロビーを利用した展示会‘がんを知る展’を開催し、がんに対する知識普及によりがん検診等の受診率向上に努め 	<p>ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度中の相談内容は、所得税10件、相続税23件、贈与税18件、印紙税4件、法人税1件、地方税6件、譲渡12件、他24件、合計98件でした。 ・平成23年10月、12月に外部機関より講師を招き、営業地域内の小学校にて金融知識のための講話を行いました。 ・継続的に実施しました。幸い横断旗誘導付近での交通事故は発生しておらず、地域の父兄や小中学校からは感謝されています。 ・多くの職員を参加させるなど地域の道路周辺美化に貢献し、地域住民の方から大変感謝されています。 ・「渋川へそ祭り」など、一企業として参加する祭典では、地域住民の方々からは、そろいのゆかたや法被が定評となっており、当金庫の参加を期待されています。 ・‘がんを知る展’を平成23年8月の一週間本店営業部ロビーにて開催し、がん検診等の受診率向上 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・営業店の視覚障がい者対応店舗への改装 ・認知症サポーターの取得 ・地方公共団体等によるイベント等への人材派遣 ・地域づくりを推進するための支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者の利便性向上を図るため、点字ブロックパネルの敷設等、店舗対策を計画的に対応していく。 ・職員の認知症サポーター取得によりお客様満足度の向上を図る。 ・地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベント等へ積極的に人材派遣を行いボランティア活動に努める。 ・「花と緑のぐんまづくり 2011 in 渋川」等の地域づくり推進事業への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者の方の利便性向上を図るため、点字ブロックパネルの敷設工事を行い、平成 23 年 11 月までに全店舗（店舗外 A T M 除く）完了しました。 ・全役職員を対象に、平成 23 年 11 月、12 月に「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターを取得いたしました。 ・「ぐんま県民マラソン大会」（前橋市）、「草津温泉熱湯マラソン」、「草津国際音楽アカデミー」（草津町）等へ職員が行きボランティア活動に努めました。 ・「花と緑のぐんまづくり 2011 in 渋川」に協賛し、地域づくりの支援を行いました。 ・軟式野球大会「しんきん杯」を後援し地域のスポーツ振興に努めています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		23年度実績	
<p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信 ・お客さまのご意見の反映等 	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて、積極的に情報発信していく。 ・各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。特に、上期については、各営業地域で全戸訪問を繰り返し行いお客さまの情報・要望を収集する。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて、積極的に情報発信しました。 ・営業地域での全戸訪問を下期も実施し情報・要望をお聞きし、加えて各地域の「しんきん会」などを通じて、さらにお客さまの情報・要望の収集に努めました。 ・ご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていくよう努めています。 	